

## Ⅱ章 - 3 . 活動

# 加入・活動促進【活動をひろげよう】

地域内での生活の基礎となる自治会等へ加入しない人や、会員であっても自治会等の活動には参加していない人がいます。自治会等は、住民が日頃から団結し、協力し合って地域の課題に取り組む団体です。自治会等の活動を活性化するためには、一人でも多くの住民が自治会等へ加入し、つながりをつくるのが大切です。

みんなで住んでいる地域の課題解消に向け、自治会等への加入を促し、活動に参加してもらえるようにしましょう。

### 加入促進の働きかけ

自治会等は、未加入者が加入しやすくなる工夫をし、集合住宅の場合、事業者にも協力してもらい、一人でも多くの人へ加入してもらうのが大切です。

#### ◆加入しやすい雰囲気をつくる

未加入者に、地域で一緒に活動することを理解してもらえよう、自治会等へ加入しやすい雰囲気づくりや、案内を心がけましょう。

近隣の住民が笑顔であいさつするなど親しみやすい声かけをし、未加入者の加入への抵抗感を少しでも取り除くことが、自治会等への加入を促す第一歩となるでしょう。

#### ◆案内（自治会等の情報）を配付する

加入の案内を配付するときは、総会資料や規約、広報紙といった自治会等の情報がわかるものを一緒に持参するなど、自治会等が地域で果たしている役割や活動内容を未加入者に理解してもらえよう工夫することが大切です。

祭りやイベントなど多くの人と一緒に楽しめる交流活動から参加してもらえよう説明してみましょう。

#### ◆集合住宅の施工主、管理者に協力を依頼する

集合住宅には地域外から引っ越してきた転入者が多く、地域活動への関心が低かったり抵抗を感じていたりする人もいます。集合住宅の建設前から、施工主や管理者に自治会加入促進の協力依頼をすると効果的です。また、明石市では2019年4月1日から、一定の要件を満たすマンション管理組合を自治会と同等に取り扱うこととしました。



詳しくは、明石市連合まちづくり協議会と市で作成した「自治会・町内会加入促進マニュアル」（別冊）を参照

### 活動促進の働きかけ

自治会等の活動を活性化させるためには、役員だけでなく一人でも多くの会員に活動に参加してもらうのが大切です。

#### ◆会員の得意なことをきっかけにする

会員の中には、多くの時間を自治会等の活動に取られることに抵抗感を持っている人もいます。例えば、パソコンに精通している会員に、チラシのデザインをお願いするなど、特技を活かして無理のない範囲で手伝ってもらえるような工夫をすることで、より多くの会員に自治会等の活動への参加を促すことができます。

### 加入・活動促進する際の配慮

子育て世代や高齢者のいる家庭には、事情により配慮が必要な場合があります。例えば子育て世代であれば、業務量の多い役職に就かないようにしたり、足腰の弱い高齢者であれば、負担のかかる活動への参加は配慮するなど、柔軟に対応するようにしましょう。